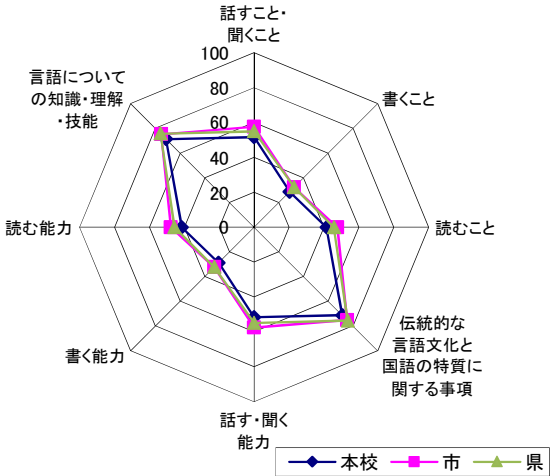


宇都宮市立白沢小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	51.6	57.5	54.9
	書くこと	28.8	32.3	32.3
	読むこと	41.5	47.7	45.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.4	75.3	75.8
観点	話す・聞く能力	51.6	57.5	54.9
	書く能力	28.8	32.3	32.3
	読む能力	41.5	47.7	45.7
	言語についての知識・理解・技能	71.4	75.3	75.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●領域の平均正答率は51.6%で、県平均より3.3ポイント低い。 ○「話し合いにおいて司会者の役割を理解し進行する」ことは、県平均より4.9ポイント高い。 ●「理由を挙げながら筋道を立てて話す」ことは、県平均より10.6ポイント低い。	・今後も引き続き授業の中に子どもたち同士の学び合いの場を積極的に取り入れることにより、話す・聞く力の向上を目指していく。 ・学級活動の話し合い活動において、自分の考えを述べる際に、理由を挙げながら筋道を立てて話せるよう指導していく。スピーチをする際はスピーチメモを活用する。
書くこと	●領域の平均正答率は28.8%で、県平均より3.5ポイント低い。 ○メモを基に、報告レポートに記述する内容を考えて書く設問は、県平均を上回っている。 ●文章構成を意識し、内容を工夫して報告レポートを書く設問は、県平均より9.8ポイント低い。	・本校では、お礼文、行事作文、周知文等を書く教育活動が充実しているが、さらに授業の振り返り等で書く機会を増やしていく。 ・文章の内容に合った項目、見出しを考えて、レポートや新聞にまとめる活動を充実させていく。
読むこと	●領域の平均正答率は41.5%で、県平均より4.2ポイント低い。 ●文章を読んで考え、まとめたことを発表し合う設問では、県平均より6.2ポイント低い。 ●登場人物同士の関係や物語上での役割を捉える設問は、県平均より10.0ポイント低い。	・説明文においては、要点をまとめながら読み取る学習を充実させていく。 ・物語文においては、登場人物の性格や心情を捉えながら読み取る学習を強化していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●領域の平均正答率は71.4%で、県平均より4.4ポイント低い。 ○国語辞典の使い方に関する設問は、県平均をやや上回っている。 ●会話文におけるかぎ(「」)の使い方に関する設問は、県平均より8.8ポイント低く、言葉の学習に課題が見られる。	・漢字やローマ字等の基礎的な学習内容を、自主的に繰り返し復習することで定着が図れるよう、家庭学習や朝学習を充実していく。 ●句読点やかぎ(「」)の使い方など、文章を書くために必要な基礎的事項を例文を用いて説明したりプリントなどで繰り返し練習させたりする。